

**広報紙の充実と広聴機能の強化
についての研究報告書**

**平成 29 年 3 月 10 日
議会広報編集委員会**

多くの市民に読まれる 広報紙を目指して

市議会だよりについて

発行の目的

- ・議会での出来事を市民に伝え、市民が議会への関心を高めること。
- ・市民に暮らしやまちづくりなどの地域課題を認識してもらい、解決への参加を促すこと。
- ・議案の議決に至る経過や行政監視・政策提案など、市民への説明責任を果たすための情報発信。

議会広報編集委員会の現状

委員数 6名 委員長 江花圭司 副委員長 渡部一樹
委員 長澤勝幸、矢吹哲哉、関本美樹子、遠藤吉正

委員会の目的 議会広報の編集及び発行に関する協議

記事の構成 ①議案審議②各常任委員会での審査③一般質問
④請願・陳情の審査⑤議案の審議結果⑥市議会からのお知らせ

委員会の活動 定例会終了後から翌月の中旬にかけて委員会で編集を行い、定例会終了後、翌々月の1日に「市議会だより」の発行を行っている。

記事の作成

議案審議に関しては、本会議で複数人の議員から質問された議案3、4件を取り上げ原稿の作成を行っている。

各常任委員会での審査、及び請願・陳情の審査は、特に審査に時間を要した案件を、数件取り上げ各常任委員会で原稿を作成している。

一般質問については、議員が自ら原稿を作成し、委員会で編集を行っている。

議案の審議結果、市議会からのお知らせについては、事務局で原稿を作成している。

課題

- 1 多くの市民に読んでもらうためにはどうすべきか。
- 2 市民が読みたいと思う広報紙にするためにはどうすべきか。
- 3 どのくらいの市民に読まれており、市議会だよりのことを知っているのか。

他市の状況

この2年間に視察を行った他市事例（さいたま市、宇都宮市、東村山市、あきる野市）
広報紙の作成で心がけていること

【あきる野市】 平成28年7月28日視察

- ・手に取ってもらえる表紙づくりをしている。
- ・市民が関心のある記事を考え掲載している。
- ・読者を増やすため、各号において読み手のターゲットを変え、特集記事を作成している。（子育てママやものづくり若手職人など様々な市民について、インタビューを行い、特集記事を組むことで、同じ境遇の人が関心を持って、新たな読者となっている。）
- ・余白を取り、読みやすくしている。
- ・一般質問についてもできるだけ端的なQ&Aにしている。
- ・目の動線を考えながら文章を配置している。



【さいたま市】 平成27年10月27日視察

- ・市民が手に取ってみたいくなる表紙となるように工夫している。
- ・できるだけ専門用語を使用せず、わかりやすい文章にしている。
- ・イラスト等でできるだけ紙面を柔らかくしている。
- ・余白を増やし、短時間で読み切れる文面にしている。
- ・市民が関心のある話題を取り上げている。
- ・多くの読者が市議会に関心を持つよう、趣向を凝らしながら企画特集を組んでいる。



【宇都宮市】 平成27年10月26日視察

- ・できるだけ目を引くような表紙に工夫している。
- ・読みやすい紙面を目指し、デザインを一新した。
- ・文字フォントを12ポイントとし、わかりやすい文章を心がけている。
- ・メリハリをつけながらも、不用な装飾文字を使用しないようにしている。

議会広報編集委員の意見

視察を行った全ての市議会において、まずは、市民に手に取ってもらえる表紙、そして少しでも多くの市民に読んでもらえるよう、わかりやすい文章や文章量に心がけた紙面づくりをしていた。

本市においても、市民に手に取ってもらえる広報紙を目指し、平成26年6月発行の議会だよりから表紙の印象を変え、第28号（平成29年2月発行の市議会だより）から、他市のレイアウトを参考に一般質問のレイアウトを変更したところである。市民に読んでもらえる広報紙を作成するためには、読者の視点に立って、読みたくなる「市議会だより」の編集が必要であると考えている。

課題の解決に向けて

- 1 どの位の市民が、「市議会だより」を知っており、読まれているか把握するため、アンケート調査を行う必要がある。
- 2 市民が読みたいと思う、適正な文章量にし、見やすいレイアウト、分かりやすい文章にする。また、記事のタイトルを、市民の目を引くタイトルにする。
- 3 市民が手に取ってみたい広報紙とするため、**読者の視点に立った編集を行う必要がある。**
また、全頁カラー印刷又は2色印刷への変更等、予算を含めた検討も必要と考える。
- 4 今後も、先進的な広報紙を作成している他市町村の視察を行い、他市町村の事例を参考として、本市に見合った広報紙の作成をしていきたいと考える。しかしながら、現在の予算では、関東までの視察しかできない状況であるので、視察研修予算の増額をお願いしたい。
- 5 多くの市民に読まれるために、市議会だよりの文章量を減らすにあたり、情報量が限られる。それを補うため、ホームページを充実していく必要がある。
- 6 よりよい広報紙を目指すためには、専門的な知識を学ぶ必要もあると考える。
(予算措置が必要)

申入れ事項

- 1 アンケート調査の実施を検討すること。
- 2 ホームページの充実を図ること。
- 3 視察研修にかかる予算の増額。また、広報紙作成における研修会を行うための予算措置を検討すること。

「開かれた議会」にするために

- ① 市民の意見を聞く議会にする
- ② 市民に見える議会にする

広聴機能について

本市の現状

市民と議会の意見交換会（議会報告会）については、議会運営委員会が担当している。

他市の状況

【東村山市】 平成 28 年 7 月 27 日視察

《広報広聴委員会所掌事項》

- ・市議会だよりの編集および発行。
- ・議会ホームページに関すること。
- ・議会報告会、意見交換会、パブリックコメント及びアンケート調査。
- ・その他、議会の広報及び広聴に関すること。

議会報告会について

- ・議員自らポスターを作成し、市民が集まる場所でPR活動を行っている。
- ・座席の配置を対面型からグループディスカッション形式に変更した。

今後の課題

- 1 議会ホームページの充実を図る。
- 2 市民に対し、議会の傍聴やインターネット議会中継の視聴を促す。
- 3 市民と議会の意見交換会など市民の意見を聞く機会を設けることは、開かれた議会を目指す上で重要である。広報広聴委員会の設置については、議会改革推進会議においても検討項目とされているが、広報編集委員会としては、新たに広聴広報委員会を設置すべきと考える。

申入れ事項

- ・広聴広報委員会の設置を図ること。

喜多方市議会 議会広報編集委員会

| | | | |
|-----|-------|------|--------|
| 委員長 | 江花 圭司 | 副委員長 | 渡部 一樹 |
| 委員 | 矢吹 哲哉 | 委員 | 関本 美樹子 |
| 委員 | 遠藤 吉正 | 委員 | 長澤 勝幸 |